

エが 公民館報 第310号

御意見・御希望・お問い合わせは四賀公民館まで… TEL 64-3112

松本市四賀音楽村主催

天満敦子ヴァイオリンコンサート

四賀に響くストラディヴァリウスの音色

四賀の世帯数・人口		
世帯数	1,951	世帯
人口	4,663	人
男	2,264	人
女	2,399	人
(平成29年5月1日現在)		

四賀音楽村主催のヴァイオリンコンサートが、三月十九日の午後、ピナスホールで開催されました。

四賀でヴァイオリンと言えば、天満敦子さん。世界的に活躍されながら、松本市四賀音楽村村長に就任され二年。今回は鍵盤ハーモニカの演奏で活躍されている狭間由香さんのピアノとの共演です。

四賀内外から来られたたくさんの方の観客を前に、天満さんの代表曲と言える『望郷のバラード』他、十九曲あまりを披露されました。曲間には、東日本大震災での慰問演奏や、戦没画学生慰霊美術館『無言館』での演奏のエピソードが語られ、会場は、静かな雰囲気の中に包まれていきます。

同名異曲の『アヴェ・マリア』の二曲や『タイスの瞑想曲』『トロイメライ』など、穏やかに演奏された多くの曲の中で、船村徹作曲で美空ひばり

が歌った『乱れ髪』は、ことにストラディヴァリウスのしっとりとした音色が響き、会場を静かな興奮の渦に巻き込んだのでした。



その後も『五木の子守歌』『雪の降る街を』など日本の歌曲も演奏されました。

終演間近となり『望郷のバラード』『ジューピター』が演奏されました。多くの拍手の中ステージを降りたお二人にアンコールの声援が送られ、再度ステージに上がりアンコール演奏が行われました。

コンサート終了時は「ブラボー！」の声飛び交い、割れんばかりの拍手で締めくくられたのでした。

その天満さんですが、コンサート後、足早にホール外に出られると、ファンの方のサインに気軽に応じるなど、驚くほどサービスピス精神旺盛な演奏家でした。その演奏力とともに、人柄に人気の理由を見た気がしました。次回の演奏も楽しみです。



たんぽぽコンサート

三月二十九日、四賀音楽村主催の「たんぽぽコンサート」が開催されました。会場の福祉ひろばには、春休み中の小学生から音楽好きのシニアまで約五十名が集まり、狭間さんの歌と語りを楽しみました。

狭間さんは七十四歳ですが、力強く張りのあるテノールは衰えを知らず、「エーデルワイス」などの名曲を披露し、聴衆を引き込みました。

戦中生まれ、戦中生まれの狭間さんは、供出された寺の鐘の話や、戦時に、戦争の悲惨さと平和の大切さを語ってくれました。

独唱のほか、参加者と一緒に「夕焼け小焼け」「砂山」を合唱したり、絵本「やさしいライオン」を狭間由香さんのピアノをバックに読み聞かせたり、子供たちにも楽しめるコンサートとなりました。

殿村遺跡発掘報告会

三月十八日に平成二十八年度発掘報告会「殿村遺跡とその時代Ⅶ」がピナスホールであり、殿村遺跡は虚空蔵山麓に広がる宗教施設群と思われると発表されました。

南北東西三〇〇mに広がる平場に多数の僧房からなる寺院があり、石垣は寺院が持つ高度な技術なのではないか、高級な茶道具などは有力勢力が保有した遺物ではないか、などと考えられています。

虚空蔵山城は宗教施設を取り込んで造られ、聖地である山全体に砦を構え「水の手」が城の中心で、山寺が時代と共に山城になったと考えられています。さらに四賀地区には、松本平ではほとんど見られない中世の石造物である仏教信仰に関わる石塔が一八〇点あることが調査されていることも発表されました。



聖地に築かれた宗教施設か？

平成29年度 町会長・町内公民館長・体育部長名簿

Table with columns: 町会名, 町会長, 備考, 公民館長, 備考, 体育部長, 備考. Lists names and roles for various town associations.

四賀公民館委員

公民館事業の企画立案・運営をしていただく、四賀公民館委員の皆さんを紹介いたします。

- ◆運営委員会: 大澤好市, 穂高憲一, 佐々木清夫, 市川明仁, 中嶋博, 関口秀徳, 山岸忍, 瀧澤正行, 川窪聡, 常田兼弘

四賀地区地域センター

維持課管理担当(地籍調査) 課長補佐 増田香

- 市川益南, 柏原章, 麻生仁志, 上田剛史, 岩淵満喜子, 青木美枝, 横山健治, 小口正盛, 和田昌朝, 鳥羽敬一, 岩下守, 川久保英津, 川窪けさみ, 川久保英津

職員紹介

嘱託 米倉文博, 嘱託 中田将之, 嘱託 大久保博勝

- 農政課, 課長補佐 青木美伸, 生産振興担当係長, 降旗優, 主査補 佐藤和彦

四賀地区担当 伊東 裕輔 保健師. 四賀支所にいます! 6月の日程, 7月の日程.



池田町の桜仙峡

四月二十五日、今年度最初のウォーキングで二十名が参加しました。晴れ男が三人いたためか天気は上々で、池田の桜仙峡に向かつて出発しました。

湧き水

▼新聞を開くと、地域おこし協力隊などや、個人で古民家を改装して、コミュニティスペース、宿、カフェなどとして開業するという記事をよく目にします。▼旅先でも、古民家が店舗として使われているのを見ますが、実に美しく、オシャレ。古い街並みにも合うし、都会のビルの間にあってもしっくりと調和しています。